日本の歴史をひもとく街

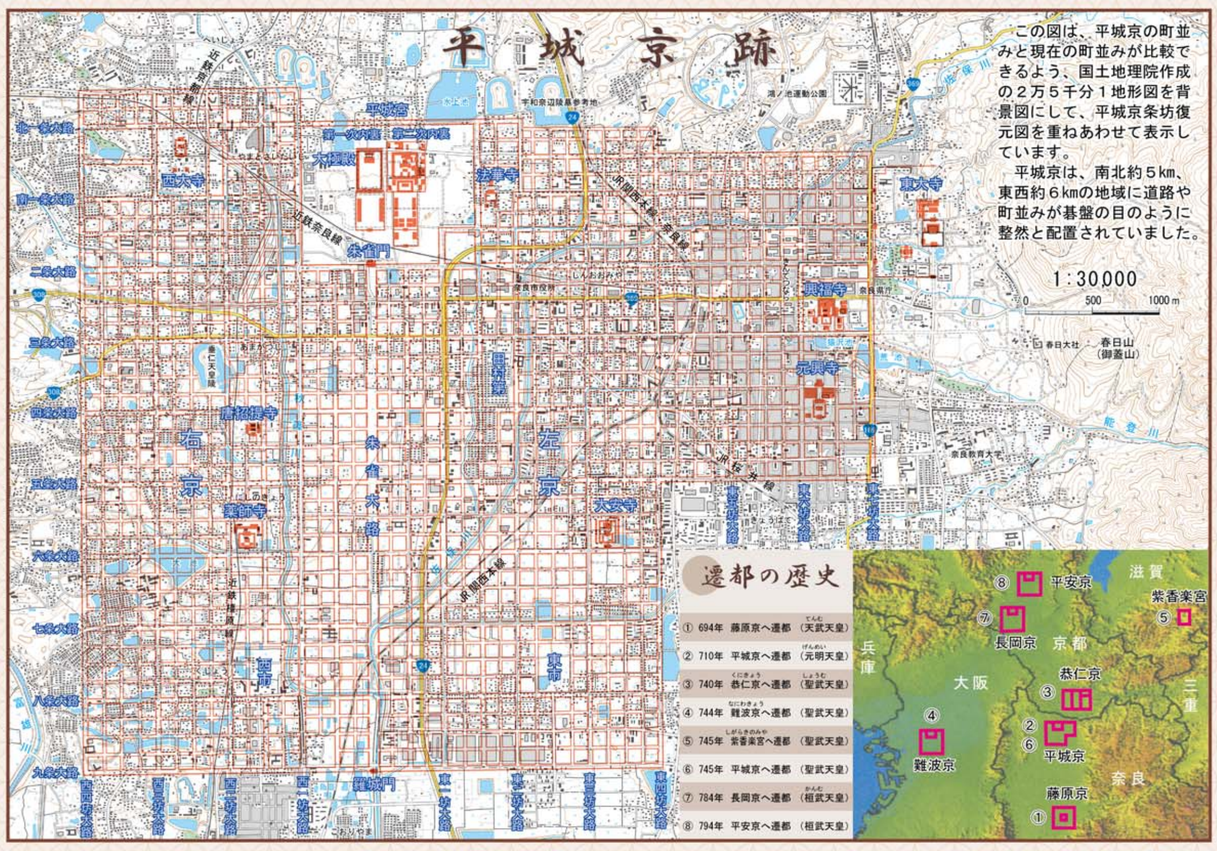
奈良 NARA

5万分1 集成図

平城遷都1300年記念

Yokoso! JAPAN
国土地理院は、ビジット・ジャパン・キャンペーンを応援します

国土地理院
国土地理院技術資料　C·1-No. 391



この図は、平城京の町並みと現在の町並みが比較できるよう、国土地理院作成の2万5千分1地形図を背景図にして、平城京条坊復元図を重ねあわせて表示しています。

平城京は、南北約5km、東西約6kmの地域に道路や町並みが碁盤の目のように整然と配置されていました。

遷都の歴史

① 694年 藤原京へ遷都（てんむ）（天武天皇）
② 710年 平城京へ遷都（げんめい）（元明天皇）
③ 740年 恭仁京へ遷都（くにきょう）（聖武天皇）
④ 744年 難波京へ遷都（なにわきょう）（聖武天皇）
⑤ 745年 紫香楽宮へ遷都（しがらきのみや）（聖武天皇）
⑥ 745年 平城京へ遷都（聖武天皇）
⑦ 784年 長岡京へ遷都（桓武天皇）
⑧ 794年 平安京へ遷都（桓武天皇）

5万分1集成図「奈良」を利用される方へ

この地図は、わが国の代表的な歴史・文化・観光都市である奈良及びその周辺地域を対象として、5万分1地形図「奈良」、「大阪東北部」、「桜井」、「吉野山」、「大阪東南部」、「五條」を使用して作成した表図と、奈良盆地周辺の地形の変遷や奈良県内の古道・古街道などを紹介した裏図とで構成したもので、文化・教育・観光などの分野で広く活用されることを目的とし

表図について 表図の特徴は次のとおりです。

1. 山地部に陰影をつけて地形を立体的に表示
2. 文化財に類する建物の位置を記号と注記で明示
3. 古道・古街道、公園・緑地を表示
4. 2000mごとの直交方眼線を表示

裏図について 裏図の項目は次のとおりです。

■表紙……文化庁により復原された第一次大極殿正殿

■平城京跡……町並みを比較するため、平城京条坊復元図（奈良県教育委員会より提供）と2万5千分1地形図を重ね合わせて表示しています。また、遷都の歴史を奈良盆地周辺の陰影段彩図上に表示しています。

■奈良盆地周辺の地形の変遷……国土地理院技術資料D・1-No. 430「近畿地方の古地理を訪ねて（近畿地方の古地理に関する調査報告書）」（国土交通省近畿地方整備局及び国土地理院で作成）に基づき、縄文期から現在までの奈良盆地周辺の地形の移り変わりについて当時の地形を再現し解説しています。

■奈良時代の奈良盆地の様子……国土地理院技術資料D・1-No. 430「近畿地方の古地理を訪ねて（近畿地方の古地理に関する調査報告書）」（国土交通省近畿地方整備局及び国土地理院で作成）に基づき、平城京遷都当時の奈良盆地の様子を再現し解説しています。

■奈良県内の古道・古街道……歴史的価値の高い古道・古街道のうち、主なものについて概略ルートと周辺の文化遺産を紹介しています。 ルートは、奈良県の資料及び国土地理院作成の5万分1地形図旧版地図等に基づき表示しています。なお、通行が困難な箇所については、通行可能な別ルートで表示しており、自然歩道等として整備されている場合は、そのルートを採用しています。名称については一般的に用いられている名称としています。

■奈良県とその周辺……奈良県とその周辺の府県及び主要都市との位置関係を表すとともに、表図の範囲、国立公園や国定公園の範囲などを表示しています。

■主な社寺などの索引表……表図に表示されている神社・寺院等のうち、建造物が国宝または国指定重要文化財に指定されているもの及び世界遺産登録されているもの、国指定の史跡・名勝・天然記念物となってい

奈良は世界的に特に価値の高い文化財を有する地域です。
文化財の保護の立場から、鑑賞のマナーを守りましょう。

◆資料収集について協力を得た主な機関

文化庁、国土交通省近畿地方整備局、奈良県（文化観光局、平城遷都1300年記念事業推進局、教育委員会）、

平成22年編集
著作権所有 国土地理院 許可なく複製を禁ずる
〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
電話：029－864－1111（大代表）
http://www.gsi.go.jp/

奈良盆地周辺の地形の変遷

1:650,000　0 10 20km

海水面、湖沼、湿地
氾濫原、三角州
扇状地、台地・段丘
400m以上
200～400m
100～200m
0～100m

縄文期（約6000年前）

縄文期には、氷河期後の海面上昇により、生駒山地の麓まで大阪湾が入り込んでいました。湾の口には今の上町台地が突堤のように北へ延びていて、大阪平野は、そのほとんどが海となっていました。

奈良盆地の中は、幾つもの川が大和川の谷に流れており、合流付近は、河川が氾濫したり湿地になったりする場所で、排水の悪い場所は沼地や盆地湖になっていました。

遺跡調査などによると、大和川流域には、弥生後期の集落跡が多く見られることから、早い時期から人が住みついていたとされています。

奈良期（約1300年前）

奈良期には、海面の低下により、生駒山地の麓まで入り込んでいた水域は、浅い淡水湖に変わり、さらに淀川の氾濫によって運ばれてきた土砂の堆積により、淡水湖も消えかかって大阪平野が広がってきています。

奈良盆地においても同様に、沼地や盆地湖が消えかかり、氾濫原に変わってきています。

この頃に都が藤原京から平城京に移されました。当時、平城京では、佐保川、大和川を経由して難波（大阪）から人や物資が運ばれていました。

江戸期（約400年前）

江戸期には、大阪平野は広い範囲が淀川や大和川の氾濫原となっていました。大和川の付け替え工事が行われたのもこの時期で、付け替えにより旧川筋では大規模な新田開発が行われ綿花作りが盛んに行われました。

奈良盆地の地形や河川は奈良期に比べ大きな変化はありませんが、盆地内の氾濫原では、現在と同じくらいの田が作られており、農業が盛んに行われるようになっていました。農業の発展に伴い、ため池や灌漑用水が整備されるとともに、大和川の付け替えにより船運が発達しました。

現　在

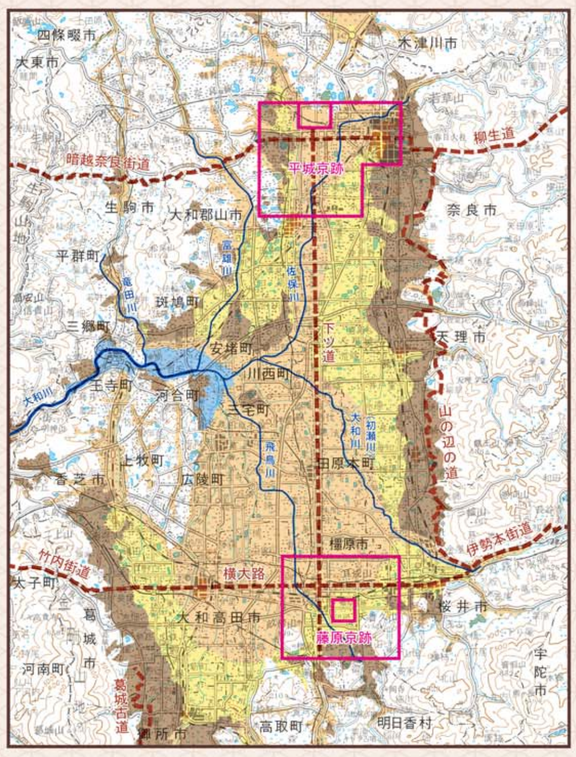
平成期には、大阪湾において大規模な埋め立てが進められました。

住宅地の開発、鉄道、高速道路、空港の整備に伴い、淀川、大和川の河口付近、河川沿いの低湿地や丘陵地も開発され、都市化が進むことにより、かつての自然地形は分かりにくくなりました。

奈良盆地やその周辺の丘陵地においても農業に変わり工業が盛んになり宅地開発などにより、山林や農地、ため池などが減少しつつあります。

奈良時代の奈良盆地の様子

1:170,000　0 5km



＜奈良時代の奈良盆地の様子　解説＞

現在の20万分1地勢図を背景にして、文献や資料に基づいて再現した当時の地形を重ねあわせ表示しています。

奈良盆地は、奈良県北西部に位置する東西約15ｋｍ、南北約30ｋｍの標高100m以下の断層盆地で、盆地中央付近は、砂やシルトが堆積する湿地性の氾濫原で形成されており、氾濫原の周りは、連続した小規模な扇状地と台地・段丘で形成されています。また、大和高原や金剛山地などの山間部は、硬質の斑れい岩類を含んだ花崗岩で形成されています。

奈良盆地には、数100万年前、生駒山地の隆起によりできた「古奈良湖」といわれる湖があったとされており、この湖から流れ出た川が大和川の原型と考えられています。

佐保川、初瀬川、飛鳥川、富雄川など盆地内を流れる河川はすべて大和川に合流するため、合流点付近は排水が悪く湿地や沼地となっていたことから、盆地内では水害もたびたび発生していました。しかし、その一方で水田など水の利用も多くなり、雨の少ない奈良盆地では、有効な水の利用方法として、多くのため池が作られ、灌漑の技術を伴う高度な農業が発達し、多くの都がおかれるようになりました。

平城京の範囲を重ねあわせてみると、平城京は、奈良盆地の最北部の東、西、北の三方向を山に囲まれた盆地内でも比較的標高の高いところに位置しています。奈良盆地の基本的な地形は現在とあまり変わっていないことから、現在の地形に重ね合わせてみると平城京の標高は低いところで約55m、高いところで約100m、平城宮の周辺は65m～75mとなっており、文献などによると、当時の水害による浸水地域が標高50m付近までであったとされており、水害の影響を受けないところに都を築いていたことがわかります。

なお、表示している平城京跡及び藤原京跡、古道・古街道等については、概略の形状を表しています。

＜地形分類＞

- 湿地（しっち）
  常に水を含んでおり、土壌がやわらかく湿地性の植物が生育している地形。
- 氾濫原（はんらんげん）
  比較的大きな河川の下流部に広がる低地で、河川の氾濫によって形成された地形。
- 扇状地（せんじょうち）
  土砂の生産の多い山地から流れ出た河川が平地に出たところに形成される扇形の緩斜面地形。
- 台地・段丘（だいち・だんきゅう）
  河川や海岸近くに形成された平坦地が地殻変動や海面変動によって現在の低地より相対的に高くなった地形。

奈良県内の古道・古街道

奈良県内には、古代に整備された都と地方を結ぶ道路（人や文化、物流の道）が「古道」や「古街道」として残されており、その沿道では貴重な歴史的文化遺産に出会うことができます。

暗越奈良街道（くらがりごえならかいどう）

暗峠

大阪から暗峠（くらがりとうげ）を超えて奈良に至る街道で、奈良時代に難波と平城京を最短距離で結ぶ道として設置された。

「日本の道百選」にも選定されている。

1:100,000　0 1 2 3km

竹内街道（たけのうちかいどう）

竹内街道

大阪府堺市から竹内峠を越えて葛城市に至るわが国最古の官道（国道）で、飛鳥時代には中国や朝鮮半島の文化がこの街道を通じて伝来された。

1:100,000

山の辺の道（やまのべのみち）

大神神社

風の森

葛城古道（かつらぎこどう）

金剛・葛城山麓を南北に走る古道で、沿道には数多くの名神大社や由緒ある寺院が存在する。

1:100,000

奈良市と桜井市を結ぶ古道で、日本書紀にも記されているわが国最古の道とされている。沿道には大神神社（おおみわじんじゃ）のほか、多くの古墳、天皇陵などがある。

1:100,000

柳生道（やぎゅうみち）

円成寺

奈良市高畑町から柳生へと通じる古道。東海自然歩道としても整備されており、沿道には春日大社、春日山石窟仏、円成寺などがある。

1:100,000　0 1 2 3km

芭蕉

伊勢街道、伊勢本街道（いせかいどう、いせほんかいどう）

伊勢神宮参拝に利用された街道で、桜井市から三重県伊勢市に通じる国道165号線沿いを伊勢街道、国道365号線沿いを伊勢本街道としている。古代から多くの往来があったとされ、沿道には長谷寺、室生寺などがある。

1:300,000　0 5km

伊勢南街道（いせみなみかいどう）

三重県境の高見峠から五條市の和歌山県境まで、奈良県を東西に横断している街道で、沿道には吉野山、日本最古の民家「栗山家」などがある。

1:300,000

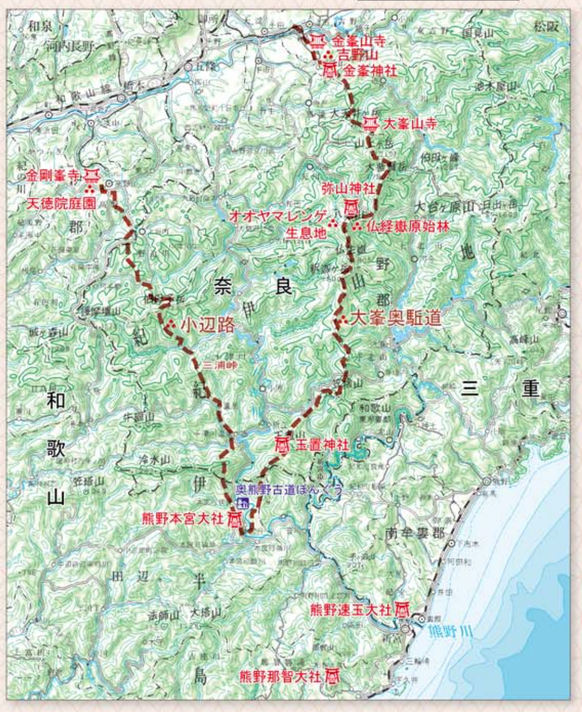
道標

熊野参詣道（くまのさんけいみち）（大峯奥駈道、小辺路）

大峯奥駈道

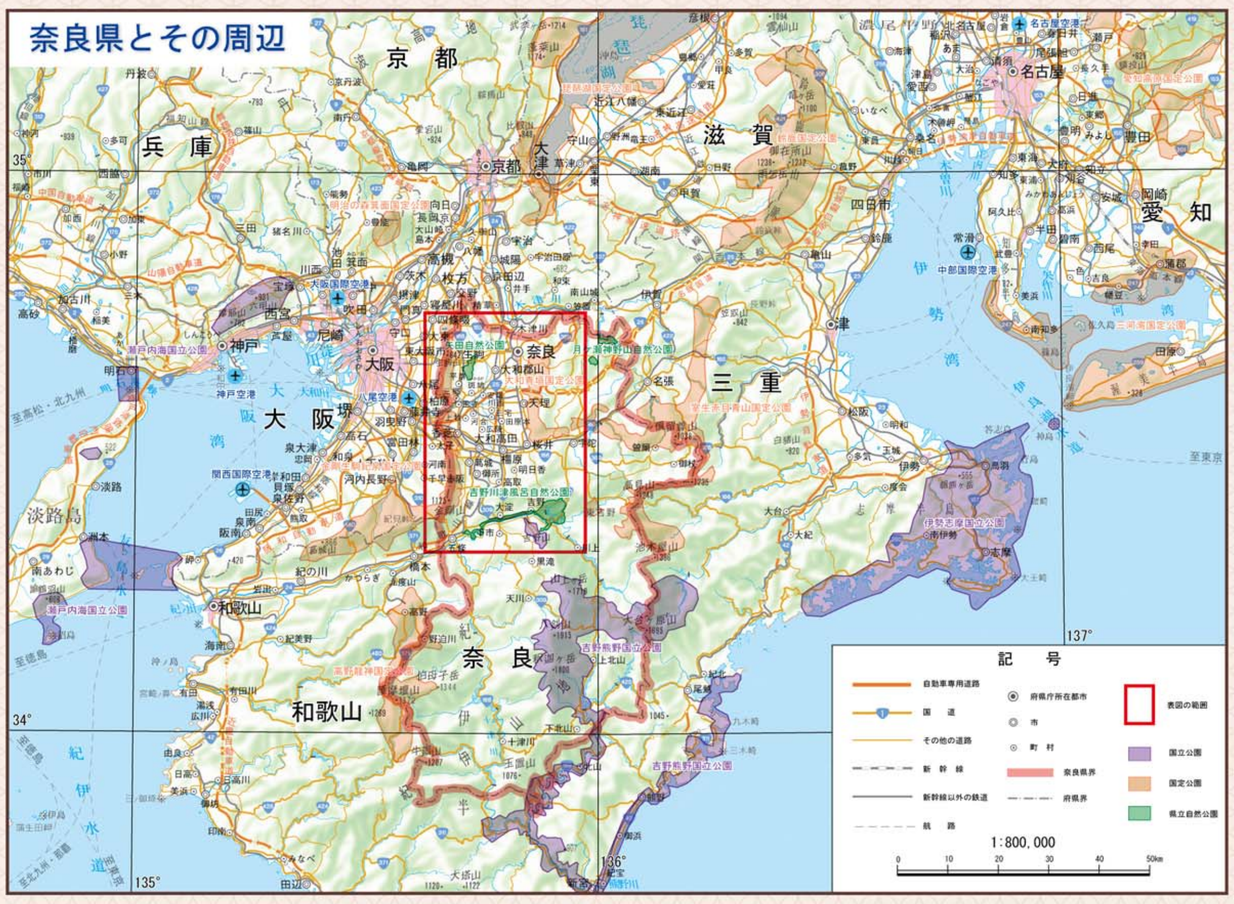
熊野参詣道は「熊野三山」（熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社）への参詣道で、奈良県内には、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の参詣道として登録されている大峯奥駈道（おおみねおくがけみち）と小辺路（こへち）がある。

1:500,000　0 10 20km



主な社寺などの索引表

◆ 国宝（建造物）
■ 国指定重要文化財（建造物）
★ 世界遺産
● 史跡（国指定）
◎ 名勝（国指定）
○ 天然記念物（国指定）
（特） 特別指定

あ
赤土山古墳 H-10
秋篠寺 C-7 ◆本堂
飛鳥池工房遺跡 O-9
飛鳥稲荷宮殿跡 P-9
飛鳥京跡苑池 P-9
飛鳥寺跡 O-9
飛鳥水落遺跡 O-9
安倍寺跡 N-10
安楽寺 R-6 ■塔婆
い
伊弉冊命神社 H-5 ■本殿
石のカラト古墳 B-7
石舞台古墳 P-9 （特）
依水園 D-10
石上神宮 I- ◆拝殿、摂社出雲建雄神社境殿 ■楼門
市尾墓山古墳・宮塚古墳 Q-7
一須賀古墳群 N-1
妹山樹叢 T-11
岩屋 M-2
岩屋山古墳 P-8
う
植山古墳 O-8
鴛塚古墳 D-11
歌姫瓦窯跡 B-9
宇陀松山城跡 O-14
宇智川磨崖碑 V-4
烏土塚古墳 H-4
宇宙多理座高御魂神社 D-8 ■本殿
梵山寺 V-4 ■八角堂、七重塔 ●行基跡
円證寺 B-5 ■本堂、五輪塔
円成寺 C-13 ◆春日堂、白山堂 ■本堂ほか3 ◎庭園
円福寺 E-3 ■本堂、宝筐印塔
お
大蔵寺 Q-14 ■本堂、大師堂
大塚山古墳群 I-5
太安萬侶墓 E-13
粟原寺跡 N-12
大峯奥駈道 W-12 ◆
大神神社 M-10 ■摂社、三ツ鳥居 ○奥垣内古墳
岡寺 P-9 ■書院、仁王門 ●岡寺跡
乙女山古墳 K-5 ◆
小治田安萬侶墓 I-15 ◎石塔婆
於美阿志神社 Q-8 ◎石塔婆
か
海竜王寺 C-8 ◆五重小塔 ■経蔵、西金堂
額安寺 I-7 ■五輪塔
カザグルマ自生地 O-14 ○
橿原神宮 O-7 ■本殿（旧京都御所内待所）
春日神社 H-7 ■本殿
春日大社 D- ◆国 ■本殿 ●春日大社 ○春日大社神域
春日山原始林 D-11 （特） ★
春日山石窟仏 D-11 ◆
唐古・鍵遺跡 J-8 ◎
河内寺廃寺跡 E-1 ◎
川原寺跡 P-9 ◎
元興寺 D-9 ◆国宝殿ほか2 ■重要文化財
岩船寺 B-12 ■五輪塔、三重塔、十三重塔、鋳造
観音塚古墳 L-1 ◎
き
喜光寺 D-7 ■本堂
北山十八間戸 C-10 ◎
吉田寺 H-5 ■多宝塔
キトラ古墳 Q-8 （特）
吉備池廃寺跡 N-10 ◎
旧大乗院庭園 D-10 ◎
行基墓 E-4 ◎
金峯神社 W-12 ◆
金峯山寺 U-11 ◆国宝（蔵王堂）、三門 ■鐘楼
く
日下貝塚 C-1 ◎
神墓古墳 N-10 ◎
栢山古墳 K-10 ◎
百済寺 L-6 ◎三重塔
久米寺 O-8 ■多宝塔
黒塚古墳 K-10 ◎
け
牽牛子塚古墳 P-8 ◎
こ
小泉神社 G-6 ■本殿
興福寺 D-10 ◆五重塔ほか3 ■南円堂ほか1 ◎国宝
巨勢寺塔跡 R-6 ◎
巨勢山古墳群 R-5 ◎
御霊神社 V-3 ■本殿
金剛山 S-2 ◎
興福院 C-9 ■客殿法灌
西大寺 C-7 ■本堂 ●
酒船石遺跡 P-9 ◎
桜井茶臼山古墳 N-11 ◎
佐味田宝塚古墳 K-5 ◎
し
塩塚古墳 C-8 ◎
心合寺山古墳 F-1 ◎
慈光院 G-6 ■書院ほか2 ◎庭園
地獄谷石窟仏 E-12 ◎
島の山古墳 J-6 ◎
十輪院 D-10 ◆本堂 ■南門、石仏龕
十六所神社 D-5 ■境内社住吉神社本殿、境内社稲王神社本殿
正倉院 D-10 ◆正倉
正長元年柳生徳政碑 B-15 ◎
称念寺 N-7 ■本堂
葛藤池古墳 P-8 ◎
正暦寺 F-11 ■楼門
定林寺跡 P-9 ◎
浄瑠璃寺 B-11 ■庭園
正蓮寺 P-6 ◆大日堂
新薬師寺 D-10 ◆本堂 ■地蔵堂、鐘楼、東門、南門
す
瑞花院 L-7 ■本堂
崇道天皇社 E-10 ■本殿
頭塔 D-10 ◎
巣山古墳 K-5 （特）
た
大安寺 E-9 ■旧境内
大官大寺跡 O-9 ◎
當麻寺 M-3 ◆本堂ほか2 ■金堂ほか8 ●中之坊庭園
高井田横穴 J-1 ◎
高鴨神社 S-4 ■本殿
高取城跡 R-9 ◎
高松塚古墳 P-8 （特）
高宮廃寺跡 S-3 ◎
橘寺 P-9 ■境内
田辺廃寺跡 K-1 ◎
珠城山古墳 L-10 ◎
手向山神社 D-10 ■境内社住吉神社本殿、宝庫
談山神社 P-11 ■本殿、鐘楼、摩尼輪塔、十三重塔
ち
知足院 C-10 ○ナラノヤエザクラ
千早城跡 S-1 ◎
茅原大墓古墳 L-10 ◎
中宮寺 H-5 ■旧御殿 ●中宮寺跡
長岳寺 K-10 ■五智堂（真実堂）、祖地蔵院、楼門
長弓寺 B-5 ■本堂
長福寺 C-3 ■本堂
て
伝飛鳥板蓋宮跡 P-9 ◎
傳香寺 D-9 ■本堂
天王山古墳 N-11 ◎
天皇神社 J-9 ■本殿
唐招提寺 D-7 ◆金堂、経蔵ほか3 ■礼堂 ◎唐禅院
東大寺 D-10 ◆東大仏殿ほか7 ■鐘楼ほか3 ●四月堂ほか2
中尾山古墳 P-8 ■本殿 ●境内
ナガレ山古墳 K-5 ■本殿
奈良公園 D-11 ◆
南明寺 B-14 ■本堂
に
新沢千塚古墳群 O-7 ◎
西山古墳 I-10 ■本殿
尼寺廃寺跡 J-3 ◎
額田部寺跡 H-7 ◎
は
博西神社 O-4 ■本殿
白山神社 N-10 ■本殿
牧野古墳 K-5 ■本殿
長谷寺 L-13 ◆本堂
八幡神社 D-7 ■本殿
八幡神社 H-3 ■本殿
花山塚古墳 N-13 ◎
吐山スズラン群落 K-15 ◎
般若寺 C-10 ◆楼門 ■経蔵、十三重塔
比曽寺跡 S-9 ◎
ひ
人麿神社 M-7 ■本殿
檜隈寺跡 Q-8 ◎
瓢箪山古墳 C-8 ◎
ふ
平野塚穴山古墳 J-3 ◎
富貴寺 J-6 ■本堂
福智院 D-10 ■本堂
藤ノ木古墳 H-5 ◎
藤原宮跡 N-8 （特）
藤原京朱雀大路跡 N-8 ◎
藤原武智麿墓 V-4 ◎
へ
メスリ山古墳 N-10 ◎
ほ
本薬師寺跡 O-8 （特）
森野旧薬園 O-14 ◎
や
薬師寺 E-7 ■東院堂、東塔 ■重門ほか2 ◎回廊内
屋敷山古墳 O-4 ◎
矢田坐久志玉比古神社 F-6 ■本殿、末社八幡神社社殿
山田寺跡 O-9 （特）
大和三山（天香久山 N-9 ◎
大和三山（畝傍山 O-7 ◎
大和三山（耳成山 M-8 ◎
ゆ
与喜山暖帯林 L-13 ○
吉野水分神社 V-11 ■本殿、拝殿、祭殿、楼門、回廊
吉野山 V-11 ◎
吉水神社 V-11 ■書院 ◆
ら
雲山寺 E-5 ◆本堂 ■三重塔、鐘楼
る
ルーミスシジミ生息地 D-11 ○
れ
蓮長寺 D-9 ■本堂
ろ
鹿谷寺跡 M-2 ◎
わ
和爾下神社 G-10 ■本殿

奈良県とその周辺